

みどり香るニュース Vol. 6

～ 第7回コンテスト：入賞（震災復興特別賞）企画の植樹式 & 市長の表敬訪問を行いました！～

企画名：津波地域最前線に癒し空間を～全壊被災校プロデュースによる共栄自立への道～

企画団体：宮城県農業高等学校科学部

共同企画団体：名取市小塚原地区 / 名取市小塚原南地区 / 名取市杉ヶ袋南地区 / 亶理町 /
亶理町荒浜5丁目婦人の会 / 大河原町さくらの会

企画場所：宮城県名取市・宮城県亶理郡亶理町

写真提供：宮城県農業高等学校科学部

< 企画概要 >

宮城県農業高等学校は、平成23年3月11日の東日本大震災の津波で全壊。被災地に植物を植えることで明るさを取り戻し、被災地に戻ってきた住民に癒しを与えるため、高校の生徒と地域住民が一緒になって取り組む企画です。日本を代表する樹木であるサクラだけでなく、塩害に強く香りをするハマナスとバラを用いて、津波最前線に癒し空間を作ります。

サクラ・ハマナス・バラについて詳しく知りたい方はこちらをご参照ください！

環境省ホームページ：かおりの樹木データ一覧表（写真つき）

http://www.env.go.jp/air/akushu/midori_machi/application/data_list/#01a

<市長を表敬訪問しました！>

平成25年1月23日に名取市長を表敬訪問しました！入賞報告をし、科学部の部員が企画パネルを使って企画の概要を説明しました。



写真左から、名取市長、宮城県農業高等学校科学部顧問、部員

市長からは、「ぜひまちづくりに貢献してほしい。コンテストのことは知っていた。いま名取市観光協会が進めている桜プロジェクトに是非協力してほしい。入賞おめでとう。」というお言葉をちょうだいしました！



< 植樹 >

平成25年3月に数日間かけて植樹を行いました。企画場所が広範囲にわたるので大変でしたが、皆さんからの物心両面にわたる支えもあり頑張りました（以下の写真の中の白い袋は兵庫県新温泉町からいただいた堆肥です）。

小塚原地区集会所・個人の自宅庭にて（平成25年3月5日（火））

復旧直前の小塚原北集会所前にて撮影。小塚原地区の三浦区長主催で植樹を行いました。宮城県農業高校科学部の生徒によるサクラの追肥・ハマナスについての説明を行ったあと、地域住民のみなさんと植えました。副賞としていただいたハマナスを28株植えました。



写真左から、曾我明相談役、小塚原地区区長：三浦氏、引地誠一書記、三浦正隆副会長

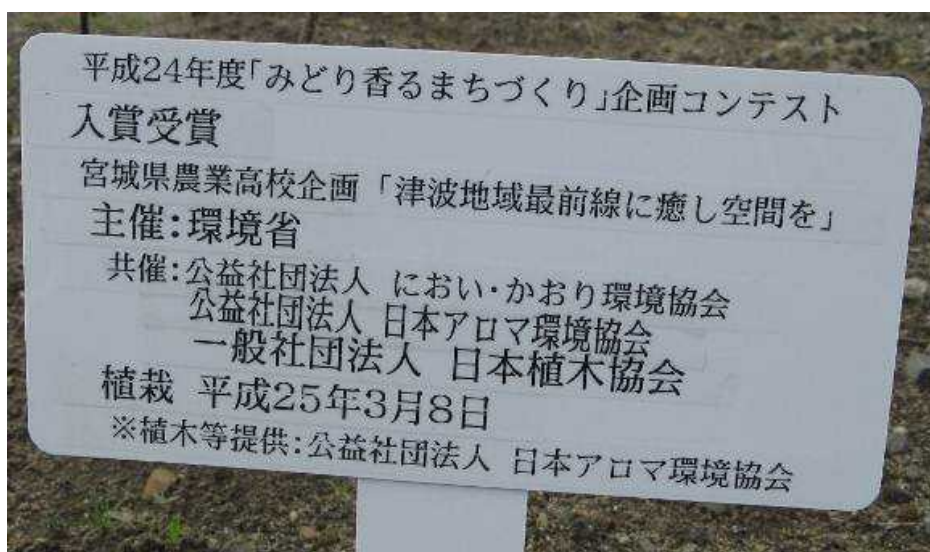


西経塚緑地公園・個人の自宅庭にて(平成25年3月8日(金))

西経塚にある緑地公園にて植樹を行いました。宮城県農業高校の生徒が植え付け方法を実演した後、標柱を埋設して地域住民の手で植え付けが行われました。「みどり香るまちづくり」企画コンテストの共催である(一社)日本植木協会の方もお越しくださいました！サクラを50本、ハマナスを30株(個人自宅庭60軒に60株)植えました。河北新報社の記者さんが取材に来てくれて、植樹の様子を記事にしてくれましたよ！(3月20日(水)河北新報16面掲載)



植樹場所にはこのようなパネルが立ててあります。科学部顧問の手作りなんです！



巨理町隈瀉くまがた (平成25年3月16日(土))

阿武隈川の流域にある巨理町隈瀉地区の土手に、ハマナスを6本植えました(昨年末に植え付けたサクラ6本のそばに植栽)。この日は植栽の仕方を生徒が実演し、後日「希望桜の会」の代表とメンバーの方々が植栽しました(写真に写っているのは代表の奥様)。



巨理町荒浜5丁目婦人の会（平成25年3月16日（土））

「荒浜5丁目婦人の会」主催のもと、植樹式を行いました。場所は巨理町荒浜にある「希望農園」。宮城県農業高校の生徒による植え付け方法実演、サクラとハマナスの説明の後、荒浜地区のみなさんと一緒にサクラ3本、ハマナス5株の植え付けを行いました。



巨理町公園^{ゆうらく}友楽ひろば(平成25年3月30日(土))

巨理町公園にある友楽ひろばにハマナス33株を植えました。この日は高校の顧問と生徒だけでしたが、後日巨理町企画財政課の職員さんが見に来てくれました。



ここにもパネルを立てています。



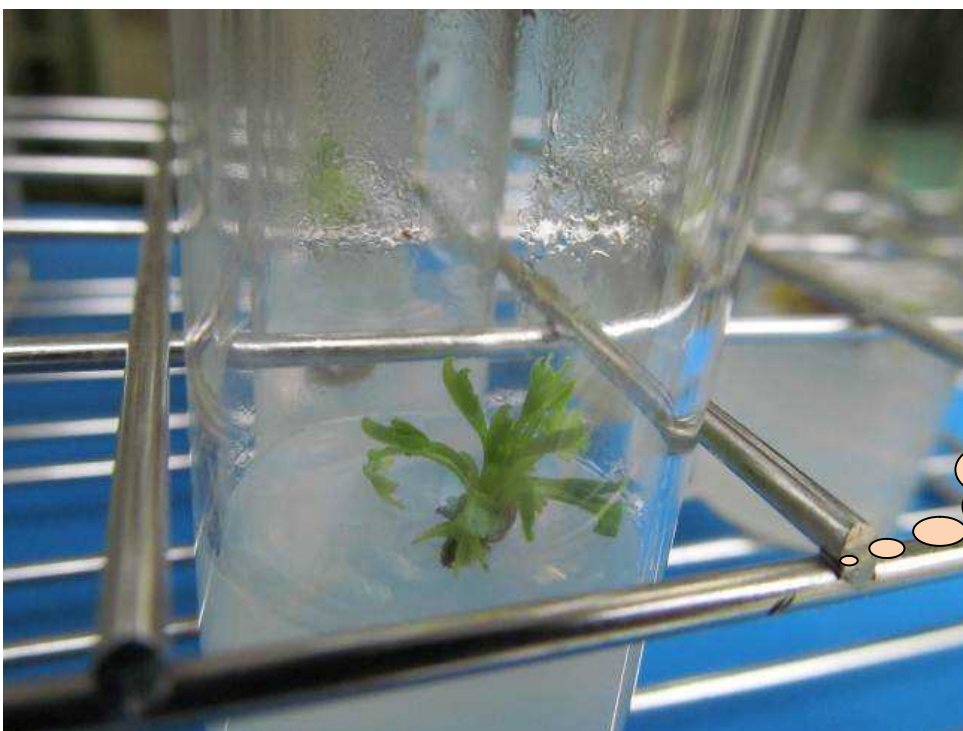
宮城県農業高等学校敷地内

副賞でいただいたバラを4株植栽しました。実はこのバラ、増やして将来まちづくりに活かそうと、苗を作っています！（そのためにパテント（特許）フリーのバラをいただきました！）

3月25日、無菌培養。



成功！苗ができました！



早く大きくなっ
てね！